

チームでサバイバルキャンプ



◆事業目的

- ①他学年との交流の中で協力の大切さを感じてもらう
- ②1つの火を通して一体感、試練を乗り越えた達成感を感じてもらう
- ③体験を通して火おこしなどのキャンプスキル・自然体験活動の魅力を得てもらう

◆参加者数：20名

◆チームでサバイバルキャンプが無事終了しました。子ども達一人ひとりが輝く3日間となりました。2日目のメインイベント「オーバーナイト火おこし」に向けて、様々な挑戦をしました。子ども達のアイデアで拠点を作ったり、火おこしの為の薪を拾ってどう乗り越えるか作戦会議をしました。また、2日目のお昼は愛川町にある中津川から生きたマスを用意し、子ども達は生きたマスを自分でさばいて調理します。文字通り命を頂く体験は子ども達の中でも印象的だったようです。2日目の夜21時からオーバーナイト火おこしが始まりました。3つのチームがそれぞれおこした火を翌4時まで守り通しました。チームで仮眠を取る時間割りを決めたり、限られた量の薪を節約しながら火を維持しました。3日間を通して子ども達全員、間違いなくレベルアップしております。4月からはまた一つ上の学年になります。キャンプで得た経験はきっと日常にも還元されるはずです。また、愛川ふれあいの村で会えることを心よりお待ちしております。（文責：鎌形）

担当スタッフ：べる、しか、みっくる、もっちー、くどう、みよっしー、タップ、まあぼ、とうちゃん